

突風WGの概要

1. 目的

気象庁において、突風等の発生可能性を予測する「突風等に対する短時間予測情報」を開発し、被害を防止・軽減できるよう同情報の利活用の方策を検討することを中期的課題として取組むこととしており、これと連携を図りつつ、鉄道分野における活用方策について検討を進める。

2. 構成員（敬称略、順不同）

藤部 文昭	気象庁 気象研究所 予報研究部 第三研究室長
板井 秀泰	気象庁 予報部 業務課 調査官
大野 寛之	独立行政法人 交通安全環境研究所 交通システム研究領域 主席研究員
今井 俊昭	財団法人 鉄道総合技術研究所 防災技術研究部 研究室長
陶山 周保	社団法人 日本鉄道運転協会 企画部 部長
奥芝 義人	北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全推進部 課長
滝代 寿紀	北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全推進部 副課長
武元 清博	東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全対策部 課長
渡辺 秀彦	九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全推進部 担当課長
関根 昌裕	東京地下鉄株式会社 鉄道本部 安全・技術部 安全課長
山下 清貴	東京地下鉄株式会社 鉄道本部 安全・技術部 軌道課長 (社団法人 日本民営鉄道協会 土木部会土木小委員会副主査)
今村 徹	国土交通省 鉄道局 技術企画課 課長補佐
兵動 宜久	国土交通省 鉄道局 安全監理官 課長補佐
◎大崎 眞一	国土交通省 鉄道局 施設課鉄道防災対策室 課長補佐

※ ◎は主査を表す。

3. 開催経緯

事務打ち合わせも含め、これまでにのべ10回開催。

4. 検討概要

- ・「突風等短時間予測情報の提供に向けた取り組みについて」（気象庁）
- ・「小型ドップラー気象レーダーによる鉄道安全運行のための突風探知システムの基礎的研究について」（気象研究所）
- ・強風問題に対する研究開発の取り組み（鉄道総研）（車両力学特性、車両空力特性等）
- ・羽越本線余目駅へのドップラーレーダーの設置について（JR東日本）